



主のしもべの受難の詩（22篇と同様）

【サレムの王】義の王は70-71篇

1-29は王であるしもべ、30-33/34-36 民全体が賛美する

Ex15のモーセの歌とミリヤムの歌のような構成

70篇と71篇も同様の構成

- ・30-33 御名に感謝、神を求める者を見捨てない（泥沼）
- ・34-36 御名を愛するものはシオンに住む（敵）

特徴語：そしり

【主の名のために受けるそしり】

2Ch 7:19-20 しかし、あなたがたがもし翻って、わたしがあなたがたの前に置いた定めと戒めとを捨て、行って他の神々に仕え、それを拝むならば、わたしはあなたがたをわたしの与えた地から抜き去り、またわたしの名のために聖別したこの宮をわたしの前から投げ捨てて、【もろもろの民のうちにことわざとし、笑い草とする。】

ソロモンの神殿奉献への主の答え（祝福とのろい）が、第2巻の外側を構成する。内側はダビデの道。